

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)米子駅前IIビル新築工事	階数	地上14階、地下0階
建設地	鳥取県米子市万能町124番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	221人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2020年4月13日
敷地面積	619㎡	作成者	株式会社 日創アーキテクト 野村
建築面積	298㎡	確認日	2020年4月17日
延床面積	3,339㎡	確認者	株式会社 日創アーキテクト 栗野



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>周辺との調和がとれるよう外構計画をし、外側についても景観に配慮し落ち着いた色彩としている。</p>		特に無し
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装仕上げ材は全面的にF☆☆☆☆認定品とすることで、化学汚染物質による空気汚染を防いでいる。タバコ煙の対策としては、1Fは全面禁煙とし、2F~14Fは客室単位で分煙とする。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>各居室はカテゴリ5eクラスのブロードバンドの利用を可能とした。建物の耐用性を高めるために、外壁には耐用年数の高い花崗岩や金属パネルを使用した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>空地を多く確保することで風の通りをよくし、敷地内が快適な環境となるように配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>建物の外皮の熱負荷を抑制するために、外壁にはロックウールを施した。また、客室の窓は省エネルギー性の高い複層ガラスを採用した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>断熱材として、外壁にロックウール、天井に押出発泡ポリスチレン板を使用しており、環境負荷の低減に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>オール電化にすることで燃焼機器を設置しない計画とした。LED電灯など省エネ対策を行うことで消費電力を抑え、CO₂削減に努める。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される